
業績ハイライト

— 平成27年3月期第2四半期決算について —



— 目 次 —

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	10
9. 平成27年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	25年9月期	26年9月期	26年3月期 (参考)	
			前年同期比	増減率
連結経常収益	21,130	21,242	112	0.5
連結経常利益	3,197	3,441	243	7.6
連結中間純利益	3,153	3,450	296	9.4

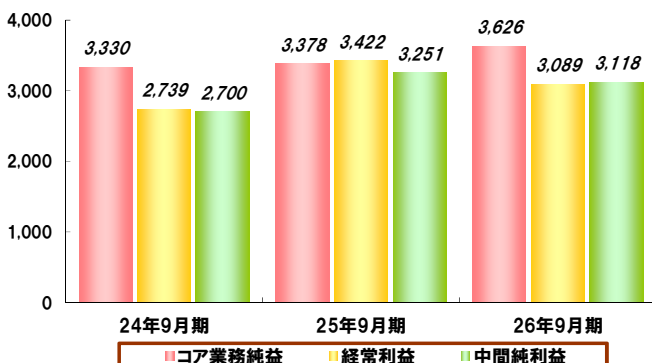
- じもとホールディングスの連結経常収益は前年同期比1億12百万円増加の212億42百万円となりました。
- 連結経常利益は前年同期比2億43百万円増加の34億41百万円、連結中間純利益は2億96百万円増加の34億50百万円となりました。

(2) 2行合算

(単位:百万円、%)

	25年9月期	26年9月期	26年3月期 (参考)	
			前年同期比	増減率
経常収益	21,073	20,772	△ 300	△ 1.4
業務粗利益	16,366	16,061	△ 304	△ 1.8
資金利益	15,150	15,072	△ 77	△ 0.5
役務取引等利益	1,299	1,297	△ 1	△ 0.1
その他業務利益	△ 82	△ 308	△ 225	-
うち国債等債券損益	△ 90	△ 315	△ 225	-
経費(除く臨時処理分)	13,077	12,751	△ 326	△ 2.4
うち人件費	6,246	6,353	106	1.7
うち物件費	6,095	5,634	△ 461	△ 7.5
業務純益(一般貸倒繰入前)	3,288	3,310	22	0.6
コア業務純益	3,378	3,626	247	7.3
一般貸倒引当金繰入額	△ 206	△ 210	△ 4	-
業務純益	3,494	3,521	26	0.7
臨時損益	△ 72	△ 432	△ 360	-
うち不良債権処理額	489	686	197	40.2
うち個別貸倒引当金繰入額	280	481	200	71.4
うち貸倒引当金戻入益	995	776	△ 218	△ 21.9
うち株式等関係損益	94	31	△ 62	△ 66.4
経常利益	3,422	3,089	△ 333	△ 9.7
特別損益	△ 51	△ 0	51	-
中間純利益	3,251	3,118	△ 133	△ 4.0
与信関係費用	△ 714	△ 352	362	-

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比3億円減少の207億72百万円(増減率△1.4%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、物件費の減少等により、前年同期比2億47百万円増加の36億26百万円(増減率7.3%)となりました。
- 経常利益は前年同期比3億33百万円減少の30億89百万円、中間純利益は前年同期比1億33百万円減少の31億18百万円となりました。

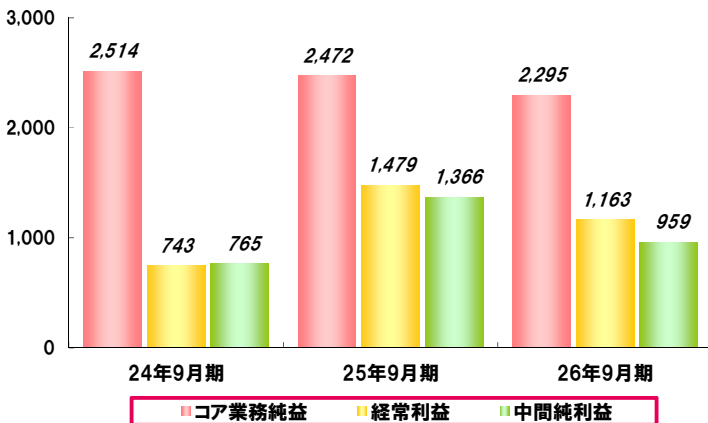
1. 損益の状況

(3) きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	25年9月期	26年9月期	前年同期比	増減率	26年3月期 (参考)
経常収益	12,177	12,196	19	0.1	24,874
業務粗利益	9,776	9,721	△ 55	△ 0.5	20,058
資金利益	9,312	9,204	△ 108	△ 1.1	18,372
役務取引等利益	649	640	△ 9	△ 1.5	1,490
その他業務利益	△ 186	△ 123	62	-	195
うち国債等債券損益	△ 191	△ 128	62	-	184
経費(除く臨時処理分)	7,495	7,553	58	0.7	14,734
うち人件費	3,840	3,919	79	2.0	7,712
うち物件費	3,286	3,199	△ 86	△ 2.6	6,296
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,281	2,167	△ 114	△ 5.0	5,324
コア業務純益	2,472	2,295	△ 176	△ 7.1	5,139
一般貸倒引当金繰入額	△ 206	△ 210	△ 4	-	△ 96
業務純益	2,487	2,378	△ 109	△ 4.3	5,420
臨時損益	△ 1,008	△ 1,214	△ 206	-	△ 1,978
うち不良債権処理額	431	610	178	41.4	749
うち個別貸倒引当金繰入額	280	481	200	71.4	551
うち株式等関係損益	△ 15	3	18	-	191
経常利益	1,479	1,163	△ 315	△ 21.3	3,442
特別損益	△ 19	△ 3	16	-	△ 1,077
中間純利益	1,366	959	△ 407	△ 29.8	2,239
与信関係費用	222	396	173	78.0	650

(単位:百万円)

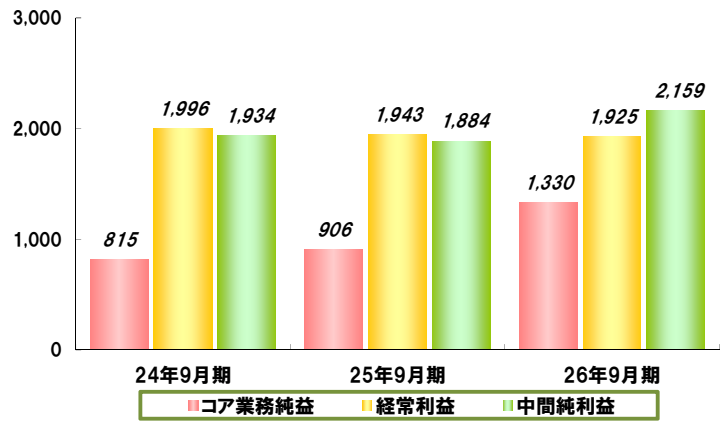


(4) 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	25年9月期	26年9月期	前年同期比	増減率	26年3月期 (参考)
経常収益	8,895	8,576	△ 319	△ 3.5	16,664
業務粗利益	6,589	6,340	△ 249	△ 3.7	13,020
資金利益	5,837	5,868	30	0.5	11,652
役務取引等利益	649	657	8	1.3	1,500
その他業務利益	103	△ 185	△ 288	△ 279.3	△ 132
うち国債等債券損益	100	△ 187	△ 288	△ 285.8	△ 137
経費(除く臨時処理分)	5,582	5,197	△ 385	△ 6.9	10,926
うち人件費	2,406	2,433	27	1.1	4,823
うち物件費	2,808	2,434	△ 374	△ 13.3	5,433
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,007	1,143	136	13.5	2,093
コア業務純益	906	1,330	424	46.8	2,230
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
業務純益	1,007	1,143	136	13.5	2,093
臨時損益	936	782	△ 153	△ 16.4	977
うち不良債権処理額	57	76	18	31.7	115
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	995	776	△ 218	△ 21.9	557
うち株式等関係損益	109	28	△ 81	△ 74.1	74
経常利益	1,943	1,925	△ 17	△ 0.9	3,071
特別損益	△ 32	3	35	-	△ 504
中間純利益	1,884	2,159	274	14.5	2,532
与信関係費用	△ 937	△ 748	188	-	△ 456

(単位:百万円)

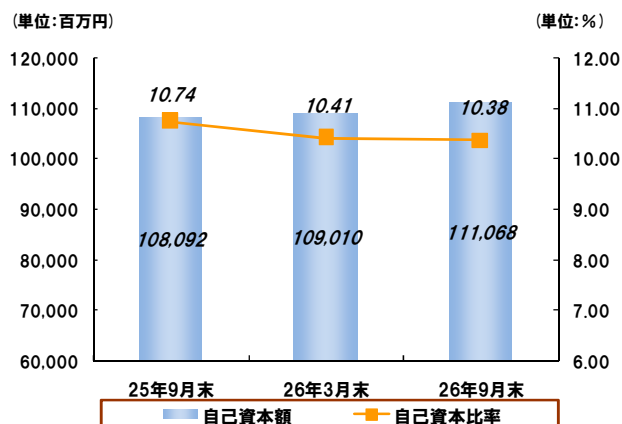


- 経常収益は、貸出利回りの低下により貸出金利息が減少したものの、有価証券利息配当金や国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比19百万円増加の12億96百万円(増減率0.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費削減に努めたことで物件費は減少したものの、資金利益の減少や税金の増加などにより、前年同期比1億76百万円減少の22億95百万円(増減率△7.1%)となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比1億73百万円増加の3億96百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比3億15百万円減少の11億63百万円、中間純利益は前年同期比4億7百万円減少の9億59百万円となりました。

- 経常収益は、有価証券利息配当金や役務取引等利益が増加したものの、貸倒引当金戻入益や国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比3億19百万円減少の85億76百万円(増減率△3.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや、経費削減により物件費が減少したことなどから前年同期比4億24百万円増加の13億30百万円(増減率46.8%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益7億76百万円の計上により、7億48百万円の戻入れとなりました。
- この結果、経常利益は前年同期比17百万円減少の19億25百万円、中間純利益は前年同期比2億74百万円増加の21億59百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

(1) じもとホールディングス連結

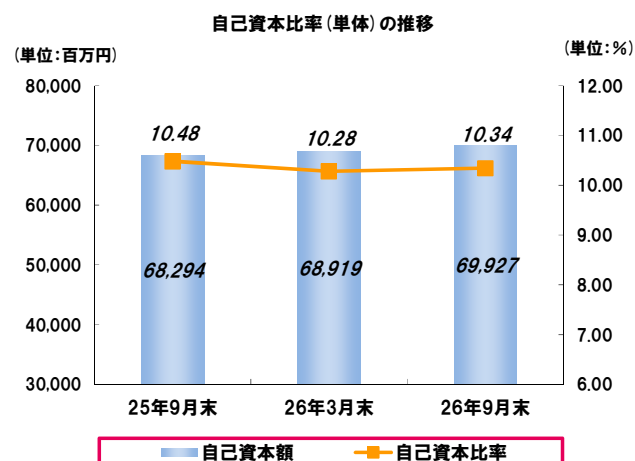


● じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.38%となりました。

	旧基準	新基準		(単位: %)	
	25年9月末	26年3月末	26年9月末	25年9月末比	26年3月末比
連結自己資本比率	10.74	10.41	10.38	-	△ 0.03

※ 平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(バーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なります。

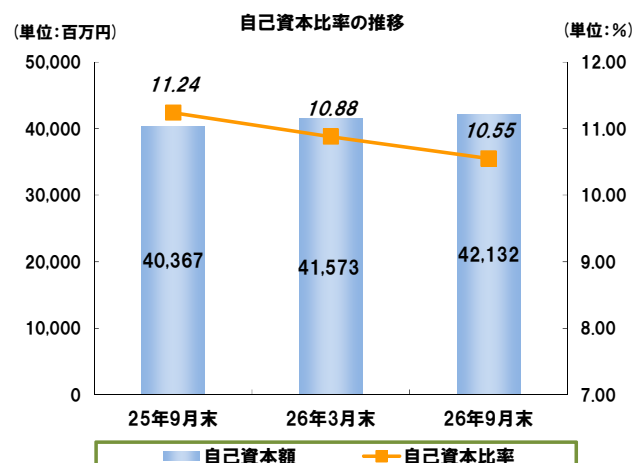
(2) きらやか銀行



● 単体の自己資本比率は、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット(分母)が増加したものの、中間純利益を9億59百万円計上するなどにより、自己資本額(分子)が増加したことから、平成26年3月末比0.06ポイント上昇の10.34%となりました。

	旧基準	新基準		(単位: %)	
	25年9月末	26年3月末	26年9月末	25年9月末比	26年3月末比
自己資本比率[単体]	10.48	10.28	10.34	-	0.06
自己資本比率[連結]	10.67	10.32	10.41	-	0.09

(3) 仙台銀行

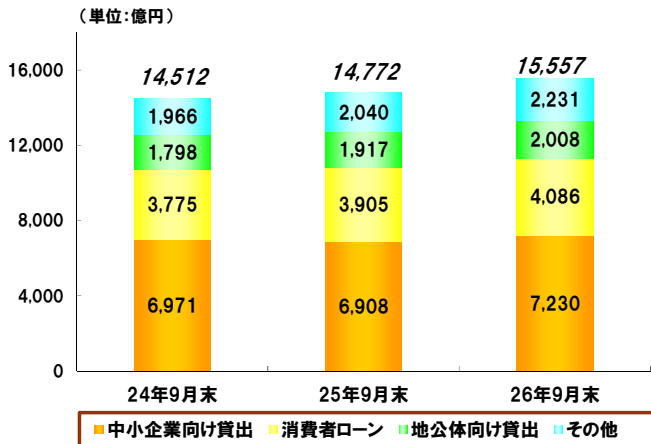


● 自己資本比率は、中間純利益21億59百万円の計上により自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、26年3月末比0.33ポイント低下の10.55%となりました。

	旧基準	新基準		(単位: %)	
	25年9月末	26年3月末	26年9月末	25年9月末比	26年3月末比
自己資本比率	11.24	10.88	10.55	-	△ 0.33

3. 貸出金の状況

(1) 2行合算

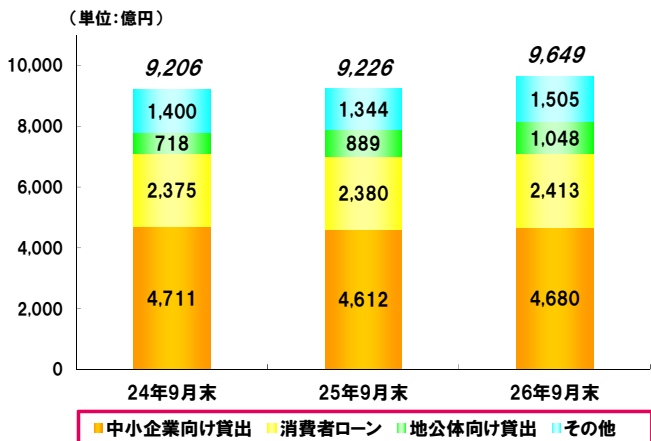


- 2行合算の貸出金残高は、25年9月末比785億19百万円増加の1兆5,557億87百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,477,267	1,555,787	78,519	5.3
うち中小企業向け貸出残高	690,883	723,046	32,162	4.6
うち消費者ローン	390,573	408,698	18,124	4.6
うち住宅ローン	368,049	384,245	16,196	4.4
うち地方公共団体向け貸出	191,761	200,884	9,122	4.7

(2) きらやか銀行

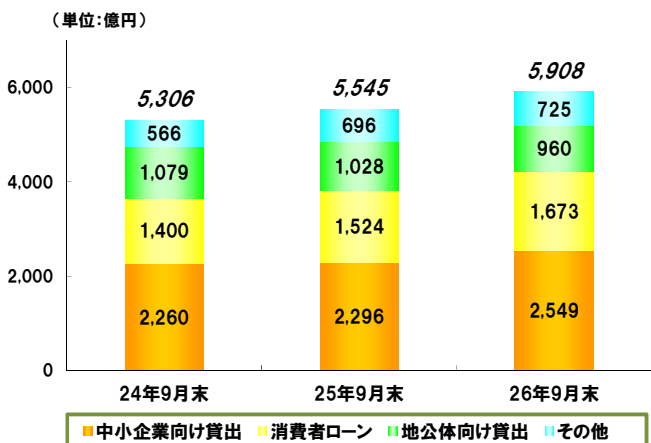


- 貸出金残高は、25年9月末比422億24百万円増加の9,649億13百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、証書貸付を中心とした長期融資が増加したことで25年9月末比68億80百万円増加の4,680億94百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の増加により、25年9月末比32億58百万円増加の2,413億46百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、25年9月末比159億32百万円増加の1,048億77百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
貸出金(末残)	922,688	964,913	42,224	4.5
うち中小企業向け貸出残高	461,214	468,094	6,880	1.4
うち消費者ローン	238,088	241,346	3,258	1.3
うち住宅ローン	226,010	229,283	3,273	1.4
うち地方公共団体向け貸出	88,945	104,877	15,932	17.9

(3) 仙台銀行



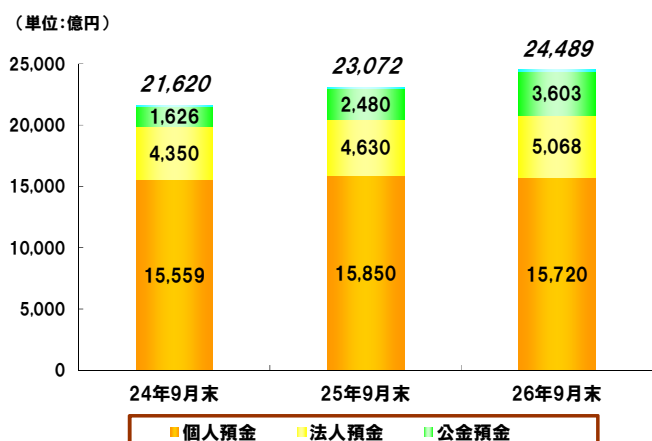
- 貸出金残高は、25年9月末比362億94百万円増加の5,908億73百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、25年9月末比252億82百万円増加の2,549億51百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の増加により、25年9月末比148億66百万円増加の1,673億51百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、25年9月末比68億9百万円減少の960億7百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
貸出金(末残)	554,578	590,873	36,294	6.5
うち中小企業向け貸出残高	229,669	254,951	25,282	11.0
うち消費者ローン	152,484	167,351	14,866	9.7
うち住宅ローン	142,038	154,961	12,922	9.0
うち地方公共団体向け貸出	102,816	96,007	△ 6,809	△ 6.6

4. 預金(譲渡性預金を含む)の状況

(1) 2行合算

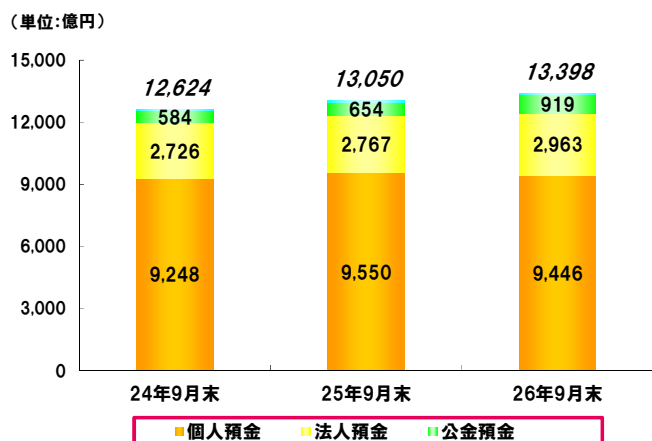


- 2行合算の預金残高は、25年9月末比1,417億1百万円増加の2兆4,489億32百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,307,231	2,448,932	141,701	6.1
うち個人預金	1,585,085	1,572,053	△ 13,031	△ 0.8
うち法人預金	463,000	506,871	43,870	9.4
うち公金預金	248,041	360,333	112,292	45.2

(2) きらやか銀行

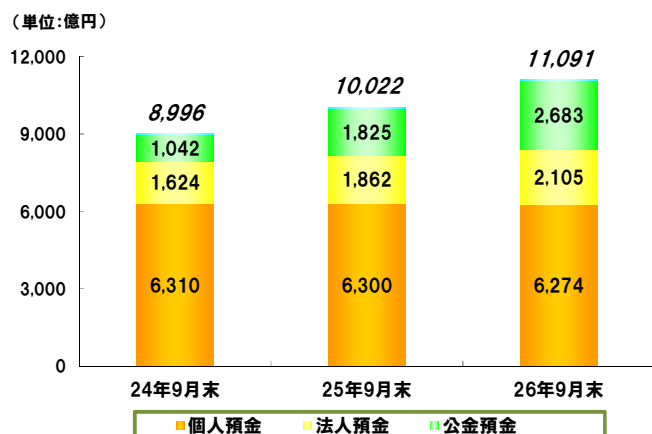


- 預金残高は、法人預金・公金預金が増加したことにより、25年9月末比347億95百万円増加の1兆3,398億3百万円となりました。
- 個人預金は、個人定期預金が減少したことなどにより25年9月末比103億87百万円減少の9,446億43百万円となりました。
- 法人預金は、流動性・定期性預金ともに大幅に増加したことなどから、25年9月末比195億78百万円増加の2,963億49百万円となりました。
- 公金預金は、25年9月末比265億7百万円増加の919億87百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,305,007	1,339,803	34,795	2.6
うち個人預金	955,030	944,643	△ 10,387	△ 1.0
うち法人預金	276,770	296,349	19,578	7.0
うち公金預金	65,480	91,987	26,507	40.4

(3) 仙台銀行



- 預金残高は、公金預金や法人預金の増加により、25年9月末比1,069億5百万円増加の1兆1,091億28百万円となりました。
- 個人預金は、25年9月末比26億44百万円減少の6,274億10百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、25年9月末比242億91百万円増加の2,105億21百万円となりました。
- 公金預金は、25年9月末比857億85百万円増加の2,683億46百万円となりました。

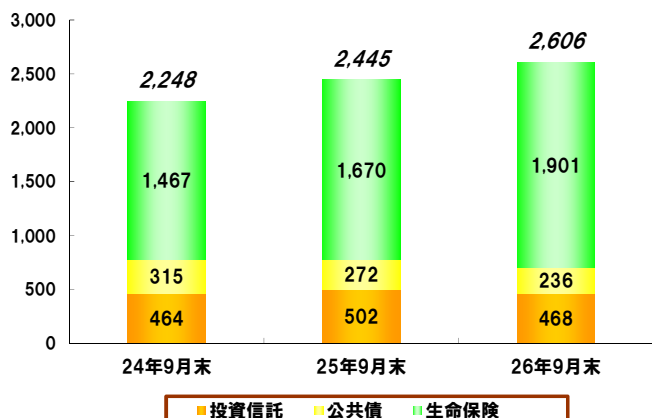
(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,002,223	1,109,128	106,905	10.6
うち個人預金	630,054	627,410	△ 2,644	△ 0.4
うち法人預金	186,230	210,521	24,291	13.0
うち公金預金	182,561	268,346	85,785	46.9

5. 預かり資産の状況

(1) 2行合算

(単位:億円)



- 2行合算の預かり残高は、25年9月比161億27百万円増加の2,606億68百万円となりました。

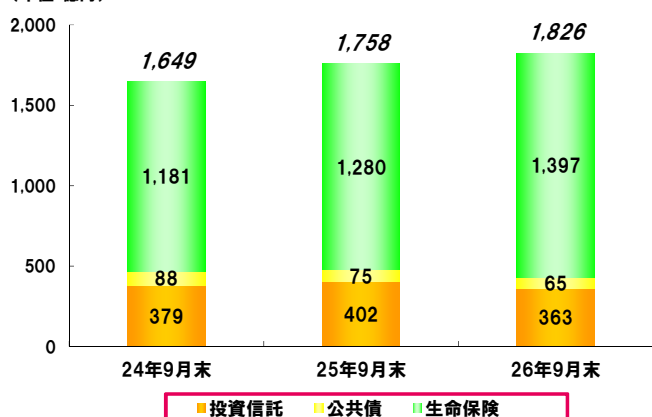
(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	
			25年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	244,540	260,668	16,127	6.5
うち投資信託	50,227	46,849	△ 3,378	△ 6.7
うち公共債(国債等)	27,295	23,637	△ 3,657	△ 13.3
うち生命保険	167,017	190,180	23,163	13.8

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

(2) きらやか銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、25年9月末比67億86百万円増加の1,826億74百万円となりました。
- 投資信託は、26年1月からの税制変更に伴う利益確定に向けた動きの影響などにより、25年9月末比38億79百万円減少の363億71百万円となりました。
- 公共債は、25年9月末比10億83百万円減少の65億16百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高いことにより、販売額が増加したことで、25年9月末比117億49百万円増加の1,397億86百万円となりました。

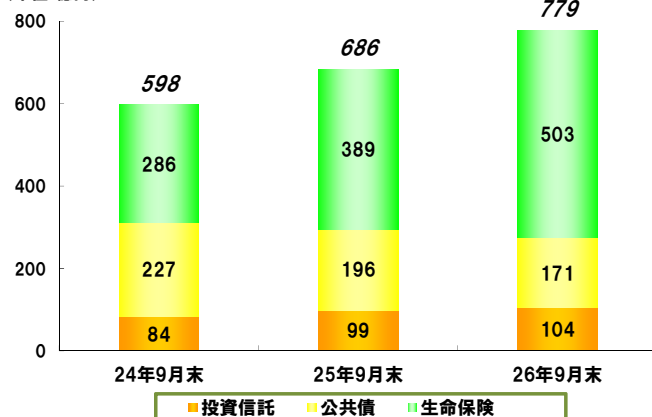
(単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	
			25年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	175,887	182,674	6,786	3.8
うち投資信託	40,250	36,371	△ 3,879	△ 9.6
うち公共債(国債等)	7,599	6,516	△ 1,083	△ 14.2
うち生命保険	128,037	139,786	11,749	9.1

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

(3) 仙台銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、25年9月末比93億41百万円増加の779億93百万円となりました。
- 投資信託は、株価上昇に伴う販売額の増加や基準価額の上昇などから、25年9月末比5億円増加の104億78百万円となりました。
- 公共債は、25年9月末比25億73百万円減少の171億21百万円となりました。
- 生命保険は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により、25年9月末比114億13百万円増加の503億93百万円となりました。

(単位:百万円、%)

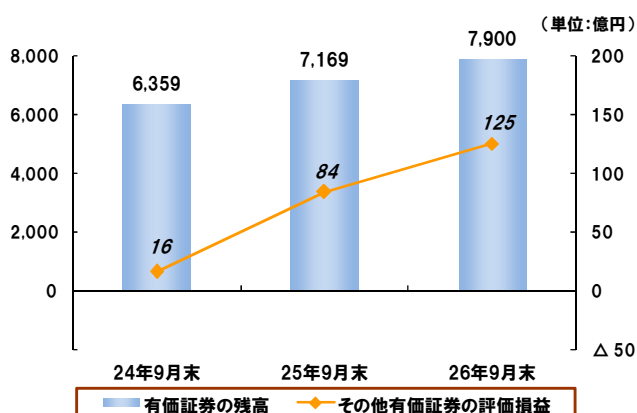
	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	
			25年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	68,652	77,993	9,341	13.6
うち投資信託	9,977	10,478	500	5.0
うち公共債(国債等)	19,695	17,121	△ 2,573	△ 13.0
うち生命保険	38,980	50,393	11,413	29.2

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

6. 有価証券の状況

(1) 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、25年9月末比730億67百万円増加の7,900億54百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、25年9月末比40億29百万円改善し、125億11百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円、%)

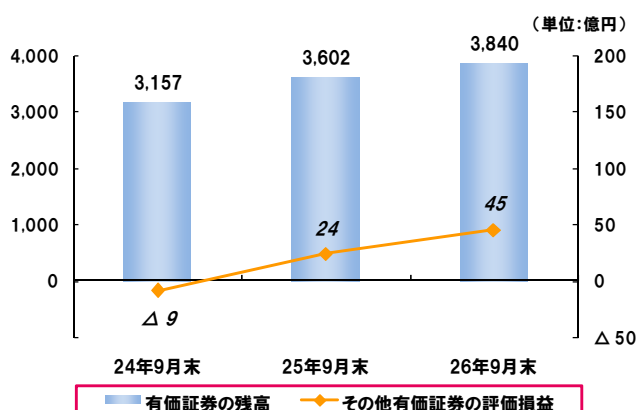
	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
有価証券	716,987	790,054	73,067	10.1
国債	237,739	250,382	12,643	5.3
地方債	93,741	108,117	14,376	15.3
社債	290,867	315,953	25,086	8.6
株式	20,342	20,590	248	1.2
その他証券	74,296	95,010	20,714	27.8

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
その他有価証券	8,482	12,511	4,029
株式	2,768	4,163	1,394
債券	6,262	7,675	1,412
その他	△ 549	673	1,222

(2) きらやか銀行

- 有価証券残高は、預金残高が増加したことに伴い、社債等による運用額を増加したことから、25年9月末比237億69百万円増加の3,840億14百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い25年9月末比20億72百万円改善し、45億56百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円、%)

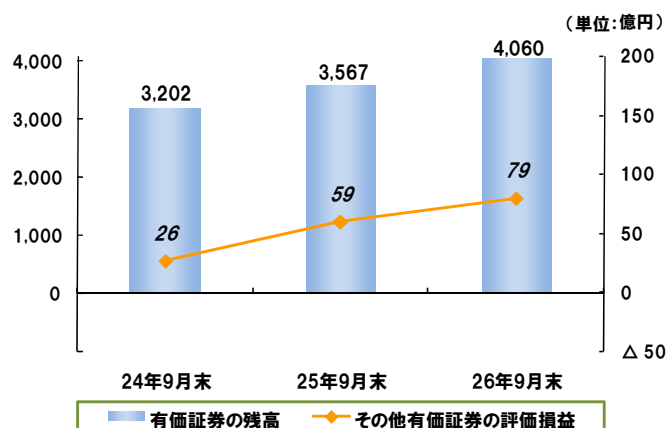
	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
有価証券	360,245	384,014	23,769	6.5
国債	133,308	126,996	△ 6,312	△ 4.7
地方債	29,154	30,168	1,013	3.4
社債	140,260	149,420	9,160	6.5
株式	11,459	11,596	137	1.1
その他証券	46,062	65,831	19,769	42.9

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
その他有価証券	2,484	4,556	2,072
株式	663	920	257
債券	2,640	3,345	704
その他	△ 820	290	1,110

(3) 仙台銀行

- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い社債や地方債等による運用額を増加したことなどから、25年9月末比492億97百万円増加の4,060億39百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い25年9月末比19億57百万円改善し、79億54百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比	増減率
有価証券	356,742	406,039	49,297	13.8
国債	104,430	123,386	18,955	18.1
地方債	64,587	77,949	13,362	20.6
社債	150,607	166,532	15,925	10.5
株式	8,882	8,993	110	1.2
その他証券	28,234	29,178	943	3.3

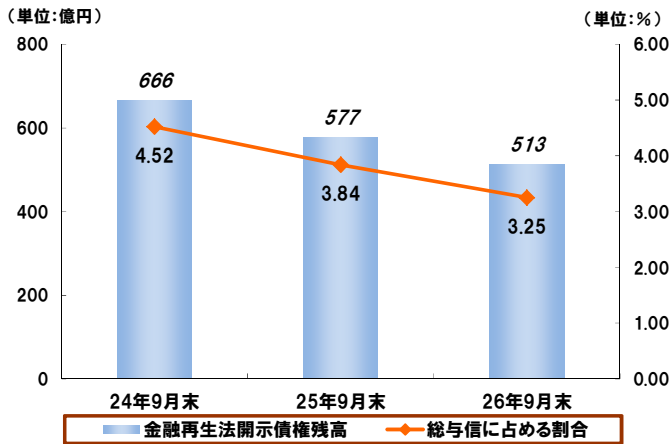
②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
その他有価証券	5,997	7,954	1,957
株式	2,105	3,242	1,137
債券	3,621	4,329	708
その他	270	382	111

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

(1) 2行合算



- 2行合算の金融再生法開示債権残高(要管理債権以下の合計額)は、25年9月末比63億53百万円減少の513億47百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、25年9月末比0.59ポイント低下の3.25%となりました。
- 2行合算の金融再生法開示債権の保全率は、85.60%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,630	6,540	△ 1,090
危険債権	45,969	40,481	△ 5,487
要管理債権	4,100	4,324	224
合計 (A)	57,700	51,347	△ 6,353
正常債権	1,441,125	1,526,788	85,663
総与信額 (B)	1,498,825	1,578,135	79,309
(A / B)	3.84	3.25	△ 0.59

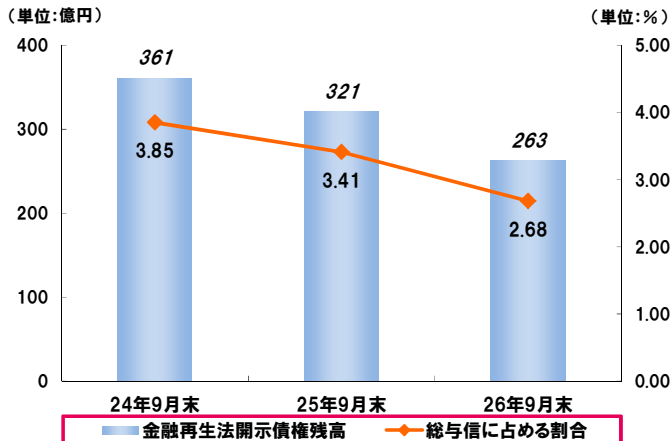
②金融再生法開示債権の保全状況(26年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,540	6,540	3,612	2,927	100.00
危険債権	40,481	36,186	30,003	6,183	89.38
要管理債権	4,324	1,226	820	406	28.36
合計	51,347	43,953	34,436	9,517	85.60

【参考】25年9月末

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,630	7,630	4,491	3,139	100.00
危険債権	45,969	39,232	33,483	5,749	85.34
要管理債権	4,100	739	370	368	18.02
合計	57,700	47,602	38,345	9,256	82.49

(2)-1 きらやか銀行



- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、25年9月末比58億5百万円減少の263億72百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、25年9月末比0.73ポイント低下の2.68%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、76.18%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,856	4,406	△ 449
危険債権	23,569	18,857	△ 4,711
要管理債権	3,753	3,108	△ 644
合計 (A)	32,178	26,372	△ 5,805
正常債権	909,306	957,186	47,879
総与信額 (B)	941,485	983,559	42,073
(A / B)	3.41	2.68	△ 0.73

②金融再生法開示債権の保全状況(26年9月末) (単位:百万円、%)

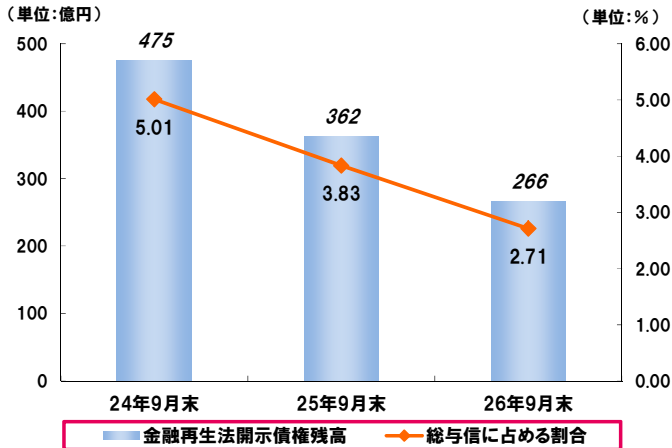
	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,406	4,406	2,253	2,153	100.00
危険債権	18,857	15,209	11,996	3,213	80.65
要管理債権	3,108	475	199	275	15.28
合計	26,372	20,091	14,449	5,641	76.18

【参考】25年9月末

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,856	4,856	2,721	2,134	100.00
危険債権	23,569	17,808	14,828	2,980	75.55
要管理債権	3,753	556	227	329	14.83
合計	32,178	23,221	17,777	5,443	72.16

7. 金融再生法開示債権の状況

(2)-2 きらやか銀行(きらやかターンアラウンド・パートナーズ株【※】を含む)



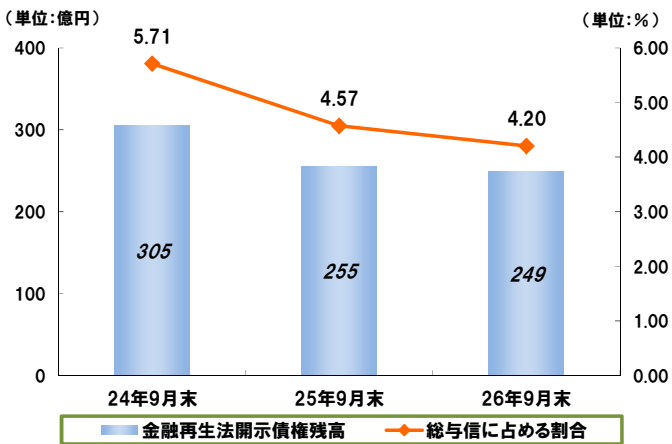
● きらやかターンアラウンド・パートナーズ株も含めました金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、25年9月末比96億円減少の266億94百万円となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,607	4,573	△ 2,033
危険債権	25,934	19,012	△ 6,921
要管理債権	3,753	3,108	△ 644
合計 (A)	36,294	26,694	△ 9,600
正常債権	909,306	957,186	47,879
総与信額 (B)	945,601	983,880	38,278
(A / B)	3.83	2.71	△ 1.12

【※】きらやかターンアラウンド・パートナーズ株は、従来きらやか銀行事業再生部が所管する業務を、吸収分割の手法により移管させて設立した会社です。同社では、企業再生支援、債権管理、回収に関する業務などを 日本政策投資銀行と共同で実施しております。

(3) 仙台銀行



● 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、25年9月末比5億47百万円減少の249億74百万円となりました。

● 総与信額に占める割合は、25年9月末比0.37ポイント低下の4.20%となりました。

● 金融再生法開示債権の保全率は、95.54%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	25年9月末	26年9月末	25年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,774	2,133	△ 641
危険債権	22,399	21,624	△ 775
要管理債権	347	1,216	868
合計 (A)	25,521	24,974	△ 547
正常債権	531,818	569,602	37,783
総与信額 (B)	557,340	594,576	37,236
(A / B)	4.57	4.20	△ 0.37

②金融再生法開示債権の保全状況(26年9月末) (単位:百万円、%)

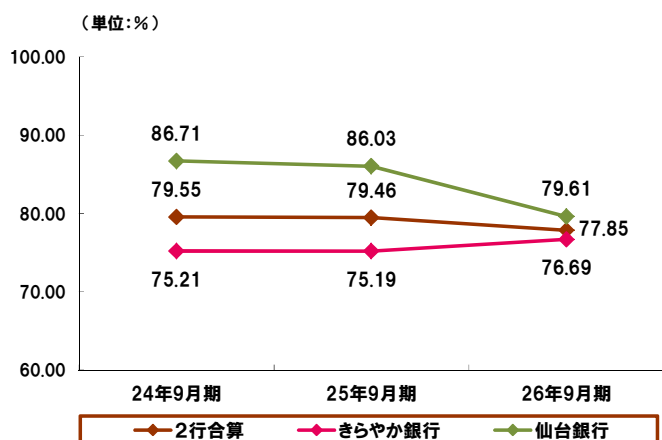
	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,133	2,133	1,359	774	100.00
危険債権	21,624	20,976	18,006	2,970	97.00
要管理債権	1,216	751	620	131	61.77
合計	24,974	23,861	19,986	3,875	95.54

【参考】25年9月末 (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,774	2,774	1,769	1,005	100.00
危険債権	22,399	21,423	18,655	2,768	95.64
要管理債権	347	182	143	39	52.51
合計	25,521	24,381	20,568	3,813	95.52

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR(債券関係損益を除く)は、25年9月末比1.61ポイント改善し、77.85%となりました。



(単位:%)

コアOHR	2行合算	24年9月期	25年9月期	26年9月期	24年9月期比	25年9月期比
		きらやか銀行	75.21	75.19	76.69	1.48
	仙台銀行	86.71	86.03	79.61	△ 7.10	△ 6.42

9. 平成27年3月期 業績予想及び配当方針

(1) じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成27年3月期の連結業績予想は、経常利益50億円、当期純利益50億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成27年3月期中間配当金は、1株あたり2円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金につきましては、1株あたり2円50銭を予定しております。

(単位:百万円)

	平成27年3月期	(参考) 平成26年3月期
経常利益	5,000	6,114
当期純利益	5,000	4,661

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)平成26年3月期	2円00銭	2円00銭	4円00銭

(2) 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益21億円、当期純利益19億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益31億円、当期純利益32億円を見込んでおります。

① きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成27年3月期	(参考) 平成26年3月期
経常利益	2,100	3,442
当期純利益	1,900	2,239

② 仙台銀行

(単位:百万円)

	平成27年3月期	(参考) 平成26年3月期
経常利益	3,100	3,071
当期純利益	3,200	2,532